



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

東

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所
 コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
 経理財務本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,100	5.7	1,281	0.2	439	△6.1	404	△13.6	78	△54.0
2025年3月期第1四半期	29,419	6.4	1,278	6.3	468	3.7	468	14.2	170	15.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 89百万円(△52.8%) 2025年3月期第1四半期 189百万円(16.5%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	2.69	—
2025年3月期第1四半期	5.85	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	71,775	16,256	22.5	552.83
2025年3月期	70,586	16,345	23.0	556.31

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 16,158百万円 2025年3月期 16,260百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期 純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	2.1	2,780	3.0	1,050	2.1	900	△11.8	230	11.1	7.87
通期	125,500	2.5	6,890	4.9	3,400	7.8	3,200	1.2	1,300	3.0	44.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) (有)メディコプランニング、除外 3社(社名) (株)永富調剤薬局、
(株)鶴丸調剤薬局、
(株)白十字総合薬局

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	30,642,600株	2025年3月期	30,642,600株
2026年3月期1Q	1,414,103株	2025年3月期	1,414,055株
2026年3月期1Q	29,228,528株	2025年3月期1Q	29,228,545株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定について、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復がみられるものの、継続する物価上昇や米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済情勢の下、当社グループは誰もが自分らしく、安心して暮らしていくための医療インフラを構築し、生涯を見守る「まちのあかり」として健やかな暮らしに貢献することを目指しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、地域薬局部門において前期に開局した店舗が寄与した一方、給与水準の引き上げ等の影響により、売上高31,100百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益439百万円(同6.1%減)、経常利益404百万円(同13.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円(同54.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及び物流業務、さらにLINEを活用したかかりつけ薬局化支援などを展開しております。

地域薬局部門では、引き続き新規出店に注力しており、当第1四半期連結累計期間中にモール型店舗5店舗を含む地域薬局6店舗を新規出店したほか、M&Aにより地域薬局1店舗を取得しました。一方で、2店舗の閉鎖及び事業譲渡を行い、2025年6月30日時点の店舗数は、地域薬局462店舗、ケアプランセンター1店舗、ドラッグストア9店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門では、地域単位での医薬品在庫情報共有サービスや各種研修の提供など、サービスの拡充を推進しております。新規加盟件数は順調に推移し、2025年6月30日時点での医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ462件、一般加盟店10,802件の合計11,264件(前連結会計年度末比261件増)となりました。

医薬品製造販売部門では、新規取引先の開拓に努めた結果、取引店舗数は順調に推移し、前年同期末比1,822店舗増の6,993店舗となりました。なお、2025年6月30日現在、52成分120品目を販売しております(出荷調整中の品目数は4成分9品目)。

医薬品物流部門では、取引先の拡大を図っております。新規取引店舗数は順調に推移し、取引店舗数は前連結会計年度末比836店舗増の2,408店舗となりました。

デジタルシフト部門では、患者と薬局双方に成功体験を提供することで、顧客基盤の拡大に取り組んでおります。導入店舗数は堅調に推移し、2025年6月30日現在の導入店舗数は6,226店舗(前連結会計年度末比206店舗増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は売上高29,850百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益1,065百万円(同0.3%増)となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、薬局の立地開発や建物の賃貸・管理業務、医師開業支援、医療施設等の開発・設計施工監理・運営、サービス付き高齢者向け住宅の運営を行っております。

前年同期に大型案件があった反動により、売上高747百万円(前年同期比20.7%減)、営業利益23百万円(同58.5%減)となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅全4棟の2025年6月30日現在の入居率は87.8%となりました。

③給食事業

本事業に関しましては、病院・福祉施設内での給食業務を受託しております。

慢性化した人手不足への対応で完全調理済み品の導入を図るほか、価格の見直しなど収益性の改善に取り組んだものの、材料費・人件費などの上昇もあり、売上高581百万円(前年同期比0.7%減)、営業損失3百万円(前年同期は営業損失2百万円)となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っております。

営業活動の効率化により、売上高85百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失3百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は71,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,188百万円増加しました。

流動資産は23,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,358百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金並びに商品が増加したことによるものであります。

固定資産は47,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円の減少となりました。主な要因は、差入保証金等が増加したものの、のれん及び繰延税金資産が減少したことによるものであります。

一方、負債の部においては55,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,277百万円の増加となりました。流動負債は26,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,519百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したものの、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は28,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,241百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては16,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円の減少となりました。主な要因は、期末配当の支払等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,461	8,742
売掛金	5,053	4,959
債権売却未収入金	1,054	1,091
調剤報酬等購入債権	475	442
商品	6,112	7,245
原材料	16	16
仕掛品	24	8
貯蔵品	83	88
その他	1,363	1,410
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	22,627	23,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,705	12,747
土地	9,378	9,348
建設仮勘定	89	200
その他（純額）	6,299	6,336
有形固定資産合計	28,473	28,632
無形固定資産		
のれん	9,063	8,860
ソフトウェア	778	818
その他	66	64
無形固定資産合計	9,908	9,742
投資その他の資産		
投資有価証券	702	687
差入保証金	4,456	4,570
繰延税金資産	3,432	3,264
その他	1,006	912
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	9,578	9,414
固定資産合計	47,959	47,789
資産合計	70,586	71,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,480	13,291
短期借入金	588	2,747
1年内返済予定の長期借入金	5,596	5,487
未払法人税等	864	158
賞与引当金	1,768	771
役員賞与引当金	-	7
その他	4,079	4,434
流動負債合計	24,377	26,896
固定負債		
長期借入金	18,085	16,777
役員退職慰労引当金	557	523
役員株式給付引当金	299	307
退職給付に係る負債	4,666	4,786
その他	6,255	6,226
固定負債合計	29,863	28,622
負債合計	54,241	55,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	946	946
利益剰余金	14,001	13,901
自己株式	△891	△891
株主資本合計	16,184	16,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	32
繰延ヘッジ損益	4	2
退職給付に係る調整累計額	37	38
その他の包括利益累計額合計	75	74
非支配株主持分	85	97
純資産合計	16,345	16,256
負債純資産合計	70,586	71,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	29,419	31,100
売上原価	17,145	18,147
売上総利益	12,274	12,953
販売費及び一般管理費	11,806	12,513
営業利益	468	439
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
業務受託料	16	14
設備賃貸料	32	36
補助金収入	20	15
雑収入	20	19
営業外収益合計	93	89
営業外費用		
債権売却損	20	33
支払利息	65	72
持分法による投資損失	-	13
雑損失	8	4
営業外費用合計	93	123
経常利益	468	404
特別利益		
固定資産売却益	0	11
事業譲渡益	31	1
特別利益合計	31	13
特別損失		
固定資産売却損	0	5
固定資産除却損	4	1
店舗閉鎖損失	3	6
その他	2	-
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純利益	488	405
法人税、住民税及び事業税	107	143
法人税等調整額	204	170
法人税等合計	311	314
四半期純利益	176	90
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	170	78

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	176	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△1
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	6	1
その他の包括利益合計	12	△1
四半期包括利益	189	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	77
非支配株主に係る四半期包括利益	6	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,017	731	585	85	29,419	—	29,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	211	0	—	224	△224	—
計	28,029	942	586	85	29,643	△224	29,419
セグメント利益 又は損失(△)	1,061	56	△2	△7	1,107	△639	468

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△639百万円には、セグメント間取引消去51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△690百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,840	592	581	85	31,100	—	31,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	154	0	—	165	△165	—
計	29,850	747	581	85	31,265	△165	31,100
セグメント利益 又は損失(△)	1,065	23	△3	△3	1,082	△642	439

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△642百万円には、セグメント間取引消去98百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△741百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	523百万円	573百万円
のれんの償却額	286百万円	268百万円